

第 7 回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

リニア工事による影響調査の情報や住民意見などを共有し、リニア工事全般に関わる事項について連絡調整を行うことを目的に、J R 東海、施工業者、中部電力、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」が交流センターに於いて、関係者 55 名が出席し下記のとおり開催されました。平成 30 年度最初の協議会となり、協議会の正副会長の選出が行われました。

■第 7 回 リニア連絡協議会（平成 30 年 6 月 28 日 午後 7 時 00 分～9 時 15 分 開催）

○第 2 期正副会長を選出 （会長）岩本 純一 （副会長）伊東 一郎

○委員の構成

（大鹿村関係委員）下表のとおり

（長野県関係委員）リニア整備推進事務所、飯田建設事務所、南信州地域振興局 各担当者

（リニア事業関係委員）J R 東海、施工業者 各担当者

団 体 名	役職等	氏 名
大鹿村議会	議員	河本 明代
大鹿村議会	議員	秋山 光夫
大鹿村農業委員会	会長	田代 久夫
大鹿村教育委員会	教育長	島崎 英三
大鹿村自治会長会	自治会長会長	岩本 純一
大鹿村商工会	会長	松尾 勲
大鹿村観光協会	協会長	齋藤 栄子
大鹿村建設業協会	協会長	吉野 君一
飯伊砂利採取販売協同組合	理事長	宮下 一義
下伊那漁業協同組合 大鹿支部	支部長	小原 寿夫
自治会（村内 27 自治会）	自治会長	（村内 27 各自治会長）
大鹿村	総務課長	小塩 宗樹

①（主）松川インター大鹿線改良工事について

■（仮称）西下トンネル 878m

- ・掘削が終了し、電気工事、きりがくぼ橋の改良工事等行っています。
- ・平成 30 年 12 月頃までの供用開始を目標としています。

■（仮称）四徳渡トンネル 1,201m

- ・崩落箇所の復旧状況について、本復旧作業として進めていましたモルタル吹付の増し吹き、もたれ擁壁およびロックボルトの打設作業が7月上旬までに完了する予定です。



- ・引き続き、大鹿側のインバート掘削、覆工、舗装工事、電気工事等を進めて、平成31年3月までの供用開始を目標としています。

■長野県による（仮称）四徳渡トンネル（大鹿側）上部の法面工事の実施について

- ・（仮称）四徳渡トンネルの供用開始までに、大鹿側の坑口上部について、もともと風化しやすい岩質であることから、長野県で法面工、アンカー工を施工します。

■小渋線の工事車両両通行台数の実績（5月）について

	A 区間 (渡場～半の沢)	B 区間 (半の沢～西下トンネル)	C 区間 (西下トンネル～滝沢トンネル)	D 区間 (滝沢トンネル～大鹿方面)
西下工区	3 8 台/日	3 7 . 7 台/日	0 台/日	
四徳工区	5 . 2 台/日	2 5 . 3 台/日		0 台/日
南アトンネル	3 6 . 7 台/日			

※工事用車両台数は、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

② 赤石岳公園線改良工事について

- ・区間5（大鹿発電鉄管路先）、区間6（日向休下）、区間7（林道分岐手前）を施工中。
- ・区間8（福德寺前迂回路）工事に着手しました。



場所打ち杭工



路盤工



場所打ち杭工

③ 南アルプストンネル工事について

【小渋川非常口】

- ・現在の掘進延長：約600m
- ・発生土は非常口横に仮置きしています。

【除山非常口】

- ・現在の掘進延長：約270m
- ・発生土は三正坊に仮置きしています。

【釜沢非常口】

- ・小河内沢を渡河する仮栈橋設置が完了しています。



坑内状況

※除山非常口対岸の釜沢集会所において、騒音振動測定、低周波測定を実施しています。また、地元意見を踏まえ釜沢集落内（5地点）でGPSによる地すべり監視をおこなっています。

■発生土置き場（旧荒川荘）について

- ・現在、道路への日当たり等を考慮した構造について、地元自治会と協議を行っています。
- ・工事完了後の管理については、大鹿村、地権者等と十分に協議を行い、管理者および管理内容を決定します。

④ その他

■伊那山地トンネル（青木川工区）事務所予定地について

- ・ 9月から造成に着手し、年内完成予定です。

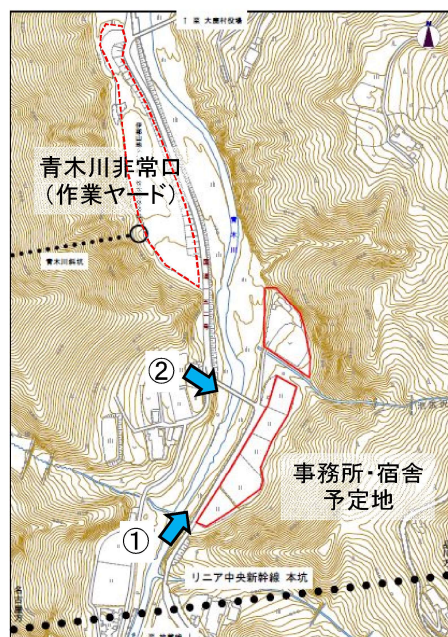
イメージ(①国道152号南側より)



イメージ(②国道152号西側より)



位置図

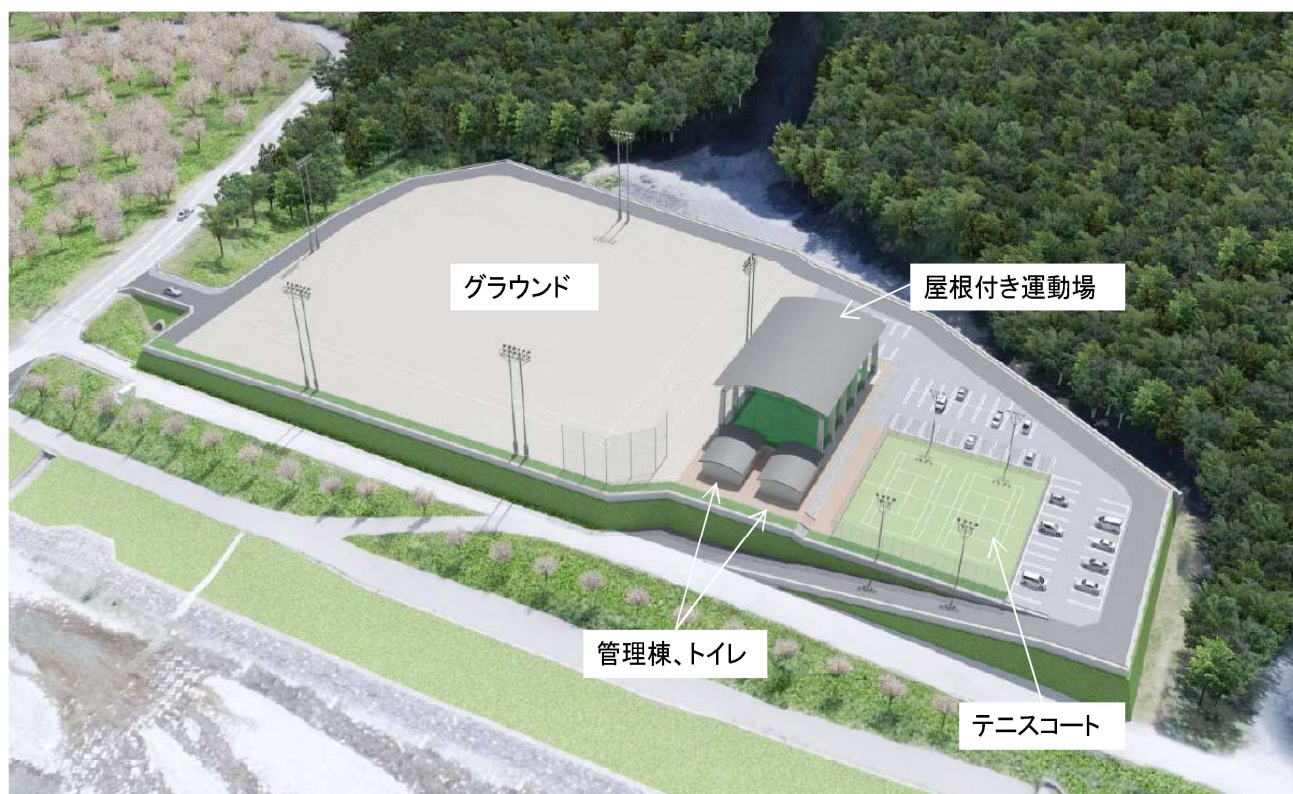


■国道152号下樗渡橋の架け替えについて

- ・ 道路管理者の長野県と JR 東海で費用負担をして、下樗渡橋の架け替え工事を行う予定です。
- ・ 架け替え工事期間中、工事用車両は現在の下樗渡橋を通行する予定です。

■大鹿村総合グラウンド整備事業について（イメージ図）

- ・ 村では、体育施設検討委員会の答申に基づき、老朽化したグラウンドの施設を新しく整備します。
- ・ リニア発生土（約10万m³）を利用してグラウンドを嵩上げし、村外への発生土運搬車両を減らして生活への影響を低減します。造成および施設の復旧は JR 東海が施工します。2020年度完成予定。



※グラウンドへの土の搬入は 7 月の中下旬からを予定しており、まずテニスコート側の B 面グラウンドの一部から開始し、A 面グラウンド・夏祭り駐車場などに支障なく利用できるよう関係者の皆さんと調整します。(A 面グラウンドは 9 月末まで利用いただける予定です。)

■ろくべん館前敷地造成について

- ・村では、新小渋橋からの進入道路整備を行い、リニア発生土（約 5 千 m³）を利用してろくべん館前の敷地をろくべん館・博物館と同じ高さまで嵩上げして敷地造成を行います。
- ・工事期間は 7 月から 12 月までを予定しています。施工は JR 東海が行います。

■「工事用車両通行等に関する変更確認書」ほか 2 件の締結について

- ・7 月 2 日に大鹿村と JR 東海は以下のとおり確認書を締結しました。
- ・平成 28 年に締結した「工事用車両通行等に関する確認書」について、リニア中央新幹線伊那山地トンネル（青木川工区）新設工事の開始に伴って、確認書の一部を変更し、変更確認書を締結しました。
- ・大鹿村の計画する、「大鹿村総合グラウンド整備事業」、「ろくべん館前敷地造成」について、JR 東海はリニア工事に伴う発生土の有効活用、村内外へ通行する発生土運搬車両の減少による生活・環境への影響低減に資するため、当該事業・造成に協力することとし、当該事業・造成に必要な工事に関する事項について、確認書を締結しました。

※各確認書の詳細は村ホームページで確認いただけます。

○委員意見と回答

意見 6 月から国道 152 号（市場通り）の工事用車両の迂回が始まった。リニア関係車両は普通車までが迂回路を通行している。このため、市場通りの商店を利用いただけない状況だ。普通車は国道を利用してもらえるよう協議会に諮りたい。

JV 回答 商工会からの意見は承知している。地元への周知期間を十分に取ったうえで運用できるとよい。

村回答 郵便局の手続きや買い物等の用事で通行するのは当然と考える。このほか通勤車両等の普通車全般の通行に関しては、沿線自治会及び関係施設と調整したうえで結果を周知したい。

■中部電力による送電線計画について（進捗状況と今後の予定）

- ・中部電力では平成 28 年 10 月から 1 年間実施した自主環境調査の結果を取りまとめ、報告書を作成しました。下記の期間で閲覧いただけます。

中部電力（株）による自主環境調査報告書の閲覧について

中部電力（株）が計画しております、リニア中央新幹線への電力供給設備に関する自主環境調査報告書および意見箱を以下の場所に設置いたします。

期 間 ： 8 月 6 日～9 月 5 日（土、日、祝日を除く）

場所① ： 大鹿村役場総務課フロア 時間：8：30～17：15

場所② ： 中部電力（株）飯田営業所 1 F 時間：9：00～15：30

○次回（第 8 回）開催日程等について

- ・次回開催時期を平成 30 年 9 月最終週とし閉会しました。